



二〇〇七年問題に対する認識と対応について



矢口 清 議員

△質問▽

二〇〇七年問題とは、二〇〇七年における団塊の世代の一斉退職に伴い、発生が予想される問題の総称である。定年退職のタイミングである二〇〇七年は、年金財政への影響、税収の減収、国民健康保険の負担増などが考えられ、退職後に働ける環境の整備、ボランティア活動に参加できる機会の確保等を準備する必要がある。本市における団塊世代の人数を、市全体と庁内に分けて伺う。

△市長▽

この世代の方々は、社会で活動する意欲や能力・体力があるので、人材バンクの充実、生涯学習活動、ボランティア活動など、情報の提供や機会の確保の拡充、市内の各種団体などの情報交換や連携を密にし、必要な施策の充実を図ってまいりたい。なお、本

市の団塊の世代、昭和二十二年から二十四年までの状況は七千六百五十六人で、人口の五・四パーセント、市職員では百五人で、総職員数千四百四十六人に對し、九・二パーセントとなっている。

（掲載以外の質問事項）

一 二〇〇七年度から始まる「品目横断的経営安定対策」の現状と問題点  
二 市内工業団地未分譲地の現状と今後の見通しについて

イノシシによる被害状況と今後の対応について



海老原一郎 議員

△質問▽

先日民放テレビで新治地区のイノシシによる被害とその駆除について放映されたが、被害状況について具体的な数字を示してほしい。また、猟友会の人達に駆除を依頼したとのことだが、イノシシの被害に対してその他の方法を含めどのような対策をとったのか、今後はどのような取組みを考えているのか、伺う。

△産業部長▽

新治地区でイノシシによる農作物への被害が発生しており、平成十五年全県下での被害額五千五百七十六万円のうち春先の被害が六十七万円、秋の被害が百五万円、計百七十二万円となっている。対策としては、地元の猟友会の協力を得て捕獲を実施しており、市において捕獲経費の一部助成をしている。今後は、地域の実情に合わせて、忍び返しといった侵入防止柵やイノシシの嫌がる芳香剤の設置などについて地元の農家の方々と連携し、さらに近隣の市町村とも連携を取りながら、より効果的な対策となるよう実施してまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

二 レンコンの銘柄産地指定を受け、市としての取組みについて

牛久・土浦バイパスの進捗について



福田 一夫 議員

△質問▽

国道六号と学園東大通りの入口交差点は、平日、休日をお問わず、全ての方向に向かい渋滞している。特に、国道六号上下線は、一日の通過台数が、二万八千台であり、上り線は土浦三中、大房方面から下り線は荒川沖南方面から渋滞している。この渋滞解消に期待される牛久・土浦バイパスの進捗と今後の見通しについて伺う。

△都市整備部長▽

牛久・土浦バイパスは平成六年に都市計画決定され、国道六号線の慢性的な渋滞解消及び圏央道へのアクセス道路として、延長十五・三キロメートルの計画で、国土交通省が事業を実施している。国道四〇八号線から学園西大通りまでは供用開始されており、学園西大通りから東大通りまでは、平成十九年度の供用に向けて着工している。東大通りから中地区までは、着工の時期が未定なので、牛久・土浦線等建設促進期成同盟会を活用し、要望活動を積極的にを行い、整備促進を図ってまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

二 休耕田について

議案質疑発言議員

議案質疑とは、提案された議案に対して、詳しく知りたいたいなどを執行部に聞くことです。  
（質問掲載）

【王沢善幸議員】

一 平成十七年度新治村歳入歳出決算の認定について  
二 平成十七年度新治村水道事業会計決算の認定について

【中田正広議員】

一 財産の取得について

【宮本孝男議員】

一 平成十八年度土浦市一般会計補正予算（第九款教育費 新治地区公民館アスベスト対策工事費）

● 議会報編集委員会 ●

- 委員長 川口 玉留
- 副委員長 金塚 正功
- 委員 宮崎 忠志
- 委員 柏村 史夫
- 委員 吉田 一夫
- 委員 福田 一夫